

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(福) 吉田福祉会	代表者	細貝 好美	法人・事業所の特徴	燕市(旧吉田町)南吉田駅の裏、住宅街という立地。何よりも、地域のみなさんとの繋がりを大事にしています。地域に住む高齢者だけでなく、いろんな人たちとのふれあいの中馴染みの関係を作っています。
事業所名	小規模多機能センターみなみよしだ	管理者	酒井 なおみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	2人	1人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・家族からの協力を得るには、本人・家族との信頼関係を築くことが大切。信頼される努力、本音を引き出す方法・寄り添い方の工夫を行う。	・なかなか難しいところも多い。言葉にできない思いを聞くことの努力が必要に思っている。	・良くやっているとと思っている。難しいと思うが、頑張ってもらいたい。	・昨年同様に本人・家族の協力を得る努力や、本人の声に出せない思いを聞く努力や技術を持てるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・環境は継続。 ・AEDについては、広報誌にて地域の皆さんに周知できるようにする。	・継続できている。	・事業所も建ってから年数がたち修繕が必要な所が出てきている。安心安全を元に、修繕や必要な入れ替えの必要性について検討。	・環境状況については、継続して雰囲気を保ってもらいたい。安心安全のための修繕や購入を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・このままを継続してもらいたい。	・広報活動にも積極的に行っていた。	・事業所の評価を落とさない常識のある職員を目指してもらいたい。	・今の「みなみよしだ」を継続していきたい。 ・できる限り、地域との関りをもっていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域研修の継続。「地域の茶の間」への参加にて相談が継続できる。地域の人から必要な時には利用できる・相談できる事業所である。	・研修も継続出来ている。地域の茶の間の活用にて、包括支援センターと相談の場が持っている。	・必要な時に利用できる場所になっている。と意見あり。	・地域とは、「持ちつもたれつ」の関係が良い。 今の状況や研修・地域行事の参加等継続していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・現在の取り組みは継続していく。介護職員の運営推進会議や地域の人との連携をしている人とのかかわりをもつように、努力していく。	・なかなか介護者職員の運営推進会議への参加や、関わりを持つ時間が持てなかった。	・時間を作ることが難しいことは承知であるが、頑張ってもらいたい。と意見あり。	・いろいろなことが口に出して言える会議を継続していく。 ・来年こそは、介護職の運営推進会議の参加を目指す。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・避難訓練には、地域に広報を行い、見学や参加を願う。いざというときお互いに頼れる存在で居れる様にしたい。</p>	<p>・3月に避難訓練を予定。地域の回覧板の利用を行い、広報を行っていき参加や見学してもらおう。避難場所の連絡は行っている。</p>	<p>・福祉避難所としての役割についても考えて欲しい。 ・消防団への声掛けを行った方が良い。</p>	<p>・継続して避難訓練を行う事と、今年度課題であった消防団への協力依頼についても考えていく。</p>
----------------------------	---	--	--	---